

展示総数400点超！見る者をインスパイアする圧倒的な熱量

# 石岡瑛子 <sup>アイ</sup> デザイン

Eiko Ishioka | Design

2024年9月28日(土) ~ 12月1日(日)



「石岡瑛子 | デザイン」展ポスター

## 展覧会概要

没後10年を経て国内外から再び注目を集める石岡瑛子（1938～2012）。広告、舞台、映画など表現のジャンルから国境までを超え、世界的に活躍したデザイナーです。

本展では瑛子が、東京を拠点にしていた1960～80年代の仕事を中心に、センセーションを巻き起こしたポスターやCM、アートワークからスケッチまで400点以上の作品を一挙公開します。

表現者にとって大切なのは「ほんとうの自分力」を培うこと。つまり「私」を磨き抜くこと。瑛子はその信念を胸に、革新的ビジュアルを生み出す創造の旅を続けました。写真や映像、イラストなど多様な分野のトップランナーたちとの協働作業を重ねながら。

本展は石岡瑛子のクリエイションの核となる「I=私」に迫ります。いまなお熱を放つビジュアルと瑛子自身の言葉に、時代をも超越するデザインの生命力を体感してください。これは“回顧展”ではありません。石岡瑛子は、ここにいます。いまを生きるあなたをインスパイアするために。

## 石岡瑛子 | 略歴



©Kazumi Kurigami 1983

デザイナー／アートディレクター。東京藝術大学卒。1961年、資生堂宣伝部入社。前田美波里を起用したポスターなどで頭角を現し独立。70年代にはパルコ、角川文庫など時代を揺るがす数々のキャンペーン、ファッションショーの演出、書籍デザイン他を手がける。80年代初頭に活動の拠点をニューヨークに移して以降は、美術及び衣装デザインなど、さらにボーダーレスに仕事の領域を広げ、舞台「M.バタフライ」でニューヨーク批評家協会賞、アルバム「TUTU」でグラミー賞、映画「ドラキュラ」でアカデミー賞を受賞するなど世界的評価を得る。作品集に『EIKO BY EIKO』『EIKO ON STAGE』、著作に『私デザイン』他がある。

## 本展の見どころ

### ✓ 時代を超えて鮮烈に響き続ける石岡瑛子の言葉

つねに“崖っぷち”に立ちながら、デザインの本質を探究しつづけた石岡瑛子。「メッセージは常に時代の中で刺激的でなければならない」「デザインに男も女もない。“石岡瑛子”に裏づけられた表現をしたい」——強い信念に裏づけられた言葉の数々は、時代を越えて私たちの心を揺さぶります。本展では、約50点の代表作に石岡自身の言葉を対置させ、その表現の基底にあるクリエイティブな思想にスポットを当てます。

### ✓ 校正紙から垣間見える透徹した意志

ポスターなどの印刷物に加え、石岡直筆のスケッチや校正紙をあわせて展示します。細部まで生命力みなぎるデザインがどのように生まれたのか、その制作プロセスと、徹底したクオリティを求める石岡の妥協なき情熱に迫ります。

### ✓ 初公開となる教科書のデザイン、企画や編集にまで携わった雑誌の仕事など、石岡瑛子の業績を語る上で欠かせないジャンルの一つであるブックデザインも多数紹介します。

### ✓ 会場内に流れる晩年のインタビュー音声からは、石岡瑛子がいまここにいるかのような臨場感を感じていただくことができます。

### ✓ 兵庫会場限定の映像資料や特別出品も。石岡瑛子とも親交のあった安藤忠雄氏設計の展示空間ならではのダイナミックな展示をお楽しみください。

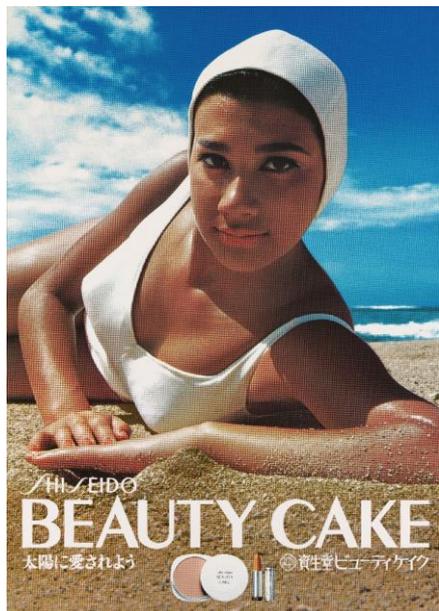
### ■当館、コレクション展でも女性作家を特集

石岡瑛子展にあわせ、同時開催の「コレクション展Ⅱ」に当館所蔵の作家、約60人超の作品が集結します。ぜひあわせてご覧ください。(p.6参照) (8月20日(火)～12月8日(日))

## 展覧会構成

### 1 幕 | 知性と品性、感性を磨く

#### —資生堂デビューと新しい女性像の創造—



働く女性がまだ少なかった時代、東京藝術大学を卒業した石岡瑛子は資生堂宣伝部に就職し、デザイナーとしてのキャリアをスタートします。男性の“愛玩物”としての女性像に疑問を抱いた石岡は、サマーキャンペーンで、当時の広告で主流だった人形のような美人のイメージを覆す、健康的で意志的な女性像を打ち出すなど、新しい価値観を提示しました。

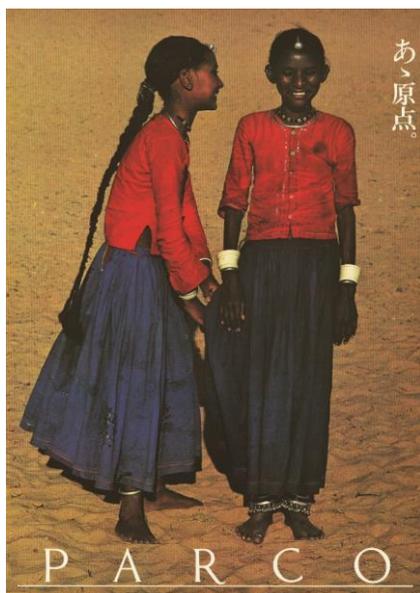
「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケイク」資生堂ポスター（1966）

### 2 幕 | あの頃、街は劇場だった —1970's 渋谷とパルコ、広告の時代—

池袋や渋谷にファッションビルを建て、街そのものを劇場と捉えて文化イベントや出版事業を多角的に展開したパルコ。1970年にフリーランスとなった石岡は、1973年に渋谷パルコが開業するとメインのキャンペーンを総括し、「新しい時代」の象徴としてのパルコのブランドイメージを築く上で中心的な役割を担っていきます。



（左）「鶯は誰にも媚びずホーホケキョ」PARCO ポスター（1976）



（中央）「あゝ原点。」PARCO ポスター（1977）



（右）「女性よ、テレビを消しなさい 女性よ、週刊誌を閉じなさい」角川書店ポスター（1975）

## 展覧会構成

### 3 幕 | 着地は熱情であらねばいけない —裸のアートワークに映る私—

石岡の前半期の活動は「広告」を中心に語られますが、ここでは、学生時代に作った絵本や東京藝術大学時代の裸体デッサン、新人デザイナーの登竜門・日宣美の出品作やギャラリーの企画展作品など、広告以外の仕事を取り上げます。石岡は、仕事において完璧なパフォーマンスを達成するため、また「私」を引き出すために、終生、知性・品性・感性・美意識を磨き続け、枠にとらわれることなく表現力を洗練させていきました。



(左) シンポジウム：現代の発見 1,2,3 日宣美賞受賞作品（1965）

(中央) 「NEW MUSIC MEDIA」音楽祭ポスター（1974）

(右) 「POWER NOW」展覧会のためのポスター（1968）

### 4 幕 | 本も雑誌もキャンバスである —肉体としてのブックデザイン—

フリーランスになって以降、石岡が力を入れていた領域がブックデザインです。表紙やカバーといった「衣」だけではなく、紙質やサイズ、文字組みなどのボディ（本体）はもちろん、時に骨格たる企画、内容にまで関わりました。まさに“肉体”としてのブックデザインといえるでしょう。そして、石岡にとっての究極のブックデザインは、自身の作品集『EIKO BY EIKO』でした。同書は日米同時出版され、ジャズの帝王マイルス・デイヴィスやアップル創業者スティーブ・ジョブズなど多くのアーティストや経営者のハートをとらえ、石岡の米国デビューを強力に後押ししました。

## 展覧会構成

### 5 幕 | 地球のすべてが私のスタジオ —<sup>アイ</sup> デザインは境界も時代も超える—

本章では、1970年代以降のエンターテインメント分野におけるグラフィック・デザインの仕事を中心に紹介します。美術監督として関わった映画「MISHIMA」(1985)ではカンヌ国際映画祭芸術貢献賞、マイルス・デイヴィスのアルバム「TUTU」(1986)ではグラミー賞最優秀レコーディング・パッケージ賞、映画「ドラキュラ」(1992)では衣装デザインでアカデミー賞を受賞するなど、石岡は様々な分野で最高の評価を受けました。石岡は、衣装やセットデザイン、展覧会の企画などの仕事においても、多くの場合宣伝ヴィジュアルまで手がけており、1枚の告知ポスターの中にも「Iデザイン」のエッセンスを見てとれます。



(上段左)「地獄の黙示録」映画ポスター (1979)

(上段右) マイルス・デイヴィス 「TUTU」レコードジャケット (1986)

(下段)「ドラキュラ」映画ポスター (1992)

## 関連イベント

### ■オープニングトーク 石岡瑛子がいる一時代を超える「I」をめぐる一

出演：河尻亨一（編集者・銀河ライター／本展監修者）  
永井裕明（アートディレクター／本展監修者）  
日時：2024年9月28日（土）14:00～15:30（開場13:30～）  
会場：兵庫県立美術館 KOBELCOミュージアムホール  
定員：150名（先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり）

### ■スペシャル対談&館長といっしょ！ 二人でEIKOを語る

石岡瑛子とクリエイティブな場を共有した小池一子氏、喜多俊之氏がリアルな「EIKO」を語ります。  
出演：小池一子（クリエイティブ・ディレクター）、喜多俊之（プロダクト・デザイナー）  
日時：2024年10月20日（日）14:00～15:30（開場13:30～）  
会場：兵庫県立美術館 KOBELCOミュージアムホール  
定員：150名（先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり）

### ■学芸員による解説会

日時：2024年10月19日（土）、11月30日（土）いずれも15:00～15:45（開場14:30～）  
会場：レクチャールーム  
定員：80名（先着順）

### ■ゆっくり解説会 in Autumn

展覧会の見どころを手話通訳および要約筆記付きで解説します  
日時：2024年11月10日（日）13:30～ ※予定  
会場：レクチャールーム  
定員：60名（先着順）

### ■こどものイベント

詳細は決まり次第当館HPでお知らせします。  
問合せ：tel. 078-262-0908

### ■ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：毎週日曜日11:00～（約15分）  
会場：レクチャールーム  
定員：80名（先着順）

### ■「白雪姫と鏡の女王」上映会

石岡瑛子が衣装デザインを手がけた「白雪姫と鏡の女王」（2012年、ターセム・シン監督）の特別上映会を行います。  
日時：10月12日（土）①10:30 ②14:00  
会場：兵庫県立美術館 KOBELCOミュージアムホール  
定員：各回250名  
料金：一般・シニア1000円、芸術の館友の会会員500円  
問合せ：兵庫県映画センター（078-754-5503）

### ■心齋橋PARCO連動企画

「石岡瑛子ポスターアーカイブス1970-1983」  
会期：9月25日（水）～12月1日（日）  
場所：PARCO WALL GALLERY  
（心齋橋PARCO館内1F/2F/3F/14F）

「石岡瑛子 I (アイ) デザイン」との連動企画として、心齋橋PARCOにて「石岡瑛子ポスターアーカイブス1970-1983」が開催されます。デザイナー、アートディレクターとして国際的に活躍した石岡瑛子の手掛けたパルコの広告をアーカイブ展示します。  
<https://shinsaibashi.parco.jp/page/chaosjam24/>

### ■同時期開催のコレクション展

コレクション展Ⅱ  
わたしのいる場所ーコレクションから「女性」特集！  
2024年8月20日（火）～12月8日（日）  
特別展「石岡瑛子 I デザイン」と連動し、当館所蔵の女性作家、約60人超の作品が集結。  
神中糸子（1860-1943）、田中敦子（1932-2005）、山崎つる子（1925-2019）など。

〔小企画〕美術の中のかたち一手中で見える造形  
「北川太郎 時のかたち」展

### ■同時期開催の展覧会

横尾忠則現代美術館「レクイエム 猫と肖像と一人の画家」  
2024年9月14日（土）～12月15日（日）

### ■Ando Gallery

入場無料（当館2階）

## 開催概要

- 展覧会名** 石岡瑛子 <sup>アイ</sup> デザイン
- 会 期** 2024年9月28日(土)～12月1日(日)
- 休 館 日** 月曜日 [ただし10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館、10月15日(火)、11月5日(火)は休館]
- 開館時間** 10:00～18:00 ※入場は閉館の30分前まで
- 会 場** 兵庫県立美術館 〒651-0073神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]
- 主 催** 兵庫県立美術館、読売新聞社
- 監 修** Team EIKO (石岡怜子、河尻亨一、永井裕明 [N.G.inc.] )
- 特別協力** 公益財団法人DNP文化振興財団、株式会社DNPアートコミュニケーションズ
- 企画協力** 迫村裕子 (S2株式会社)
- 協 賛** SHISEIDO、公益財団法人伊藤文化財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
- 協 力** PARCO

## ■観覧料

	当日券	団体料金	前売券 (9/27 まで)
一般	1,600 円	1,400 円	1,400 円
大学生	<b>1,000 円</b>	<b>800 円</b>	<b>800 円</b>
高校生以下	<b>無料</b>		—
70 歳以上	800 円	700 円	—
障害者手帳等をお持ちの方 (一般)	400 円	350 円	—
障害者手帳等をお持ちの方 (大学生)	250 円	200 円	—

※前売券販売期間：6月5日(水)～9月27日(金)(会期中は販売しません)

※一般以外の料金でご利用される方は、証明書を観覧当日ご提示ください。

※障害者手帳等をお持ちの方1名につき、その介助の方1名は無料。

※団体(20名以上)でご鑑賞いただく場合は1ヶ月前までにご連絡ください

※コレクション展は、別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は「割引」があります)。

※「神戸六甲ミーツ・アート2024beyond」の鑑賞パスポートを、9月28日(土)から県立美術館の窓口で「石岡瑛子展」当日券(一般・大学生)のご購入時にご提示いただくと「100円割引」になります。

### [主なチケット販売場所]

ローソンチケット (Lコード：51899)、チケットぴあ (Pコード：686-969)、

セブンチケット (セブンコード：106-066)、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！

### [コレクション展 “無料”観覧日] ※「コレクション展II」会期：2024年8月20日(火)～12月8日(日)

公益財団法人伊藤文化財団の協賛により、第2日曜日はコレクション展を「無料」でご鑑賞いただけます。

9月 8日(日) 第2日曜日、自由に話せる観覧日

10月13日(日) 第2日曜日、自由に話せる観覧日

11月10日(日) 第2日曜日、自由に話せる観覧日

12月 8日(日) 第2日曜日、自由に話せる観覧日

◆9月16日(月・祝) 敬老の日は、県内居住の70歳以上の方のみ無料

◆11月3日(日・祝) 文化の日は無料

◆11月16日(土) 17日(日) 関西文化の日は無料

◆12月3日(火) 国際障害者デーは無料

## ■交通案内

- ・阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
- ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅から神戸市バス(29、101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



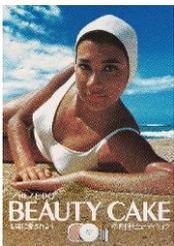
「石岡瑛子 I デザイン」 広報画像ダウンロードのご案内

本展では、オンラインでご利用いただける、広報用ダウンロードシステムをご用意しております。本リリースに掲載している画像のうち以下の図版については、下記の URL にアクセスしていただきお申込みください。（※初回のみ新規ご登録が必要です。）

[https://www.artpr.jp/hyogo\\_pref\\_museum\\_of\\_art/ishioka](https://www.artpr.jp/hyogo_pref_museum_of_art/ishioka)



01	「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケイク」資生堂ポスター（1966）★掲載許可までに一定のお時間を頂きますのでご了承ください。
02	「鶯は誰にも媚びずホーホケキョ」PARCO ポスター（1976）
03	「あゝ原点。」PARCO ポスター（1977）
04	「あゝ原点。」PARCO ポスター（1977）
05	「西洋は東洋を着こなせるか」PARCO ポスター（1979）
06	「POWER NOW」展覧会のためのポスター（1968）
07	「Tradition et Nouvelles Techniques」展覧会ポスター（1984）
08	「地獄の黙示録」映画ポスター（1979）
09	「ドラキュラ」映画ポスター（1992）
10	Miles Davis 「TUTU」レコードジャケット（1986）
11	「NEW MUSIC MEDIA」音楽祭ポスター（1974）
12	「女性よ、テレビを消しなさい 女性よ、週刊誌を閉じなさい」角川書店ポスター（1975）
13	EXPO '70 日本万国博 日本万国博覧会ポスター（1970）
14	シンポジウム：現代の発見 1,2,3 日宣美賞受賞作品（1965）
15	©Kazumi Kurigami 1983
16	「石岡瑛子 I デザイン」展ポスター ※キャプション不要



1★



2



3



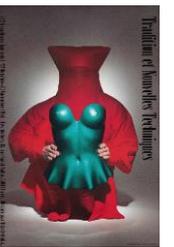
4



5



6



7



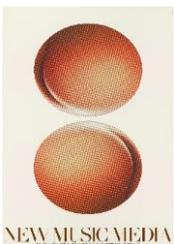
8



9



10



11



12



13



14



15



16

【 画像使用に際しての注意事項 】

○指定のキャプション、クレジットを明記してください。○作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。○掲載媒体を 1~2 部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「企画・広報担当」宛にお送りください。○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

## 兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、  
取材希望日の3営業日前までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

メール：press@artm.pref.hyogo.jp

FAX：078-262-0903

お申込日 年 月 日

<< 取材内容 >>

希望日時	第1希望	年	月	日	( 曜 )	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日	( 曜 )	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日	( 曜 )	時	分	～	時	分
希望場所										
企画内容										
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり (スチール 台 ムービー 台 三脚・脚立 台)									
	<input type="checkbox"/> なし									
取材人数	人									
取材時の代表者名										
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> その他 ( )									
媒体名										
掲載・放送予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日	( 曜 )	時	分			
	<input type="checkbox"/> 放送	年	月	日	( 曜 )	時	分			

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-Mail	

\*企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

\*作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。

\*掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)をお送りください。

## 記者説明会のご案内

9月27日(金)に記者説明会を開催いたします。

ご参加いただけます場合は、お手数ですが下記専用サイトよりお申し込みください。(※初回のみ新規ご登録が必要です。)

【特別展「石岡瑛子 | デザイン」記者説明会】

日時：2024年9月27日(金) 13時～15時(受付12時30分～)

場所：兵庫県立美術館1階 レクチャールーム

お申込 URL：https://www.artpr.jp/hyogo\_pref\_museum\_of\_art/ishioka

## 〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 企画・広報担当 (岩本・早栗・成松)

〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL：078-262-0905 FAX：078-262-0903 Mail：press@artm.pref.hyogo.jp